

# 第2次岐阜県教育ビジョン 策定スケジュール

平成24年度				平成25年度								
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

## 【県】

岐阜県教育ビジョン検討委員決定

定例教育委員会  
(1/24)  
策定方針  
進め方等

第1回  
検討委員会  
(1/30)  
策定方針  
進め方等

臨時教育委員会  
(3/21)  
基本理念  
主要施策  
の柱立等

第2回  
検討委員会  
(3/18)  
基本理念  
主要施策  
の柱立等

定例教育委員会  
(5月)  
重点政策  
主要施策  
等

第3回  
検討委員会  
重点政策  
主要施策  
等

6月  
議会  
  
経過  
報告

定例教育委員会  
(7月)  
重点政策  
現行ビジョン  
の評価  
等

第4回  
検討委員会  
重点政策  
現行ビジョン  
の評価  
等

定例教育委員会  
(9月)  
骨子案

第5回  
検討委員会  
骨子案

9月  
議会  
  
骨子案  
協議

定例教育委員会  
(11月)  
最終案  
議決

第6回  
検討委員会  
最終案

策定  
  
12月  
議会  
  
議決

重点政策に関する3専門委員会の開催(随時)  
○義務教育における学力向上専門委員会(仮称)    ○高校の在り方専門委員会    ○子どもかがやきプラン推進委員会

知事と教育委員との意見交換会を実施(開催時期未定)

スクールミーティングの開催(随時)

パブコメ

岐阜県長期構想の改訂

## 【国】 第2期教育振興基本計画

中央教育審議会  
(平成24年度内に閣議決定)

# 資料1

## 第2回岐阜県教育ビジョン検討委員会

(H25.3.18)

# 資料1-1 第2次教育ビジョンの基本理念について

## 【基本的な考え方】

### 現行教育ビジョンの位置付け

現行教育ビジョンは、10年先を見据えて、岐阜県の教育が目指す基本的方向や、今後推進すべき具体施策を明らかにした計画

### 現行教育ビジョン策定時の基本的な考え方

教育には

不易

基礎学力の定着や規範意識の徹底など、時代を超えて変わらない価値があるもの

流行

国際理解・多文化共生教育、環境教育、情報教育など、  
時代の変化に柔軟に対応していく必要があるもの

急速な変化が  
予想される  
現代社会



本県の将来を見据えた上で、中長期的な視点に立って、いつの時代にも揺るぎない「不易」としての教育をしっかりと行った上で、時代の変化に柔軟かつ的確に対応した「流行」としての教育をバランスよく取り入れ、次代を担う子どもたちに、この激動の時代をたくましく生き抜く力を育てていく。

第2次教育ビジョンでは

### 【策定に向けた基本的な考え方】

現行教育ビジョンの基本理念や方向性を継承しつつ、今後5年間で特に重点的に取り組む政策を打ち出すとともに、これまでの取組の成果を踏まえ、現状と課題に対応した新たな計画を策定する。

## 資料1-2 現行教育ビジョン 基本理念

【基本理念】 = めざす「ぎふの人間像」の育成

高い志とグローバルな視野をもって夢に挑戦し、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」

自ら学び考え行動する  
自立した人間

○先行きが不透明な現代社会を生き抜くためには、**自ら考え、主体的に判断し**、自己の責任において行動できる**自立した生き方**が求められる。

○生涯を通して**自ら学び、広い視野**をもって、**グローバル社会で活躍**できる人間を育成していくことが必要である。

心豊かに  
たくましく生きる人間

○子どもたちが心豊かに生きていくためには、自分のよさに気づき、自分自身をかけがえのない存在として肯定的にとらえられる**自己肯定感**を育む必要がある。

○豊かな人間関係を築く**コミュニケーション能力**をもち、集団の中で、**能力・個性を発揮**できる力を身に付けることが大切である。

活力ある  
よりよい地域社会づくりに  
貢献できる人間

○活力ある地域社会づくりを進めていくためには、子どもたち一人一人が、生涯にわたり**自己実現**を追求し続ける必要がある。

○**地域や社会の一員としての自覚と責任**を持ち、**よりよい地域社会づくりに貢献**できる人間を育成していくことが大切である。

めざす「ぎふの人間像」には、次のような思いや願いが込められている

- ◆高い志と世界を見渡す広い視野をもって、夢や目標に向かって挑戦し続けてほしい
- ◆家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築いて、助け合いと知恵のネットワークを広げ、公共心と自治意識をもって、地域福祉や、子育て支援、防災、教育、文化の継承、持続可能な環境づくりなどに自ら進んでかわり、互いに力を合わせて地域の課題解決に取り組んでほしい
- ◆産業活動を担い、未来を切り開く新しい価値を創造し、安全・安心で活力ある地域づくりに貢献してほしい

## 資料1-3 現行教育ビジョン 「清流スピリット」と「育みたい力」

岐阜県が目指すべき「人間像」(基本理念)を実現するため、  
「清流スピリット」に基づき、子どもたちに3つの力を育む

### 自己実現力

高い志とグローバルな視野をもち、  
問題解決能力や創造力を発揮し、  
夢に向かって挑戦し続けるとともに、  
新しい価値を創造し、地域や社会  
の発展に貢献できる力

### 【清流スピリット】

岐阜で生まれ育った子どもたちが、将来の夢や目標に向かって、  
「清く」「優しく」「たくましく」生きていく姿や、  
将来どこで暮らそうとも、  
「ふるさと岐阜への誇りと愛着をもち続ける心」を  
美しく豊かな岐阜の自然を象徴する清流にたとえたもの

### 自立力

自分に自信をもち、生涯を通して  
自ら学び、自ら考え行動し、社会  
の変化に主体的に対応していく力

### 共生力

思いやりや助け合いの心、コミュ  
ニケーション能力や協調性をもち、  
人や社会とつながり、豊かな人間  
関係を広げ深めていく力

# 資料1-4 第1回検討委員会(1/30)より

## 人口減少・少子高齢化による課題

- 人口が減少する中、社会の活力を維持・発展させるため、子どもたち一人一人に自己肯定感を持たせ、自らの多様で特色ある個性や能力を存分に発揮させることが必要
- 少子高齢化の中、個人や社会の多様性を尊重しつつ、他者と協働して、共に支え合い、高め合い、社会に主体的に参画できる人材の育成が必要
- 将来のリーダーとして、国際社会で活躍できる人材を育成するため、グローバルな視野に立ち、主体的に行動できる人材の育成が必要

## 経済や雇用状況の変化による課題

- 雇用の悪化や雇用形態の多様化に対応し、社会的・職業的に自立するための豊かな勤労観・職業観を身に付け、時代や環境の変化に柔軟に対応できる人材の育成が必要
- 一人一人が、多様な職業生活に必要な知識や技能を、主体的に身に付けることができる環境整備が必要
- 所得格差の拡大が、教育格差につながるよう、すべての子どもが公教育を等しく受けることができ、その意思と能力に応じて、主体的に生き抜く力を育むことができる教育環境づくりが必要

## 地域や家庭環境の変化による課題

- 子どもたちに夢や希望を持たせられるよう、学校・家庭・地域の大人たちが、子どもたちの心に寄り添い、共感することが必要
- 人々の絆やこれを形成するコミュニティの重要性を認識し、「互助・共助」の理念のもと、地域と連携・協力して主体的にコミュニティづくりに取り組める人材の育成が必要
- 自分と社会とをうまく結びつける力となる、家庭や地域、社会との関わりの中で育む社会性や他者への共感を通じた人間関係を築く力、自立心の形成などが必要

上記のことから、以下の観点による「人づくり」が求められる

世界のどこにおいても様々な人々と協働し、高い志を持って、グローバル社会で活躍できる人づくり

### 【自己実現力】

高い志をもち、夢に挑戦する力

社会の変化に力強くかつ柔軟に対応し、個性・能力を主体的に発揮できる人づくり

### 【自立力】

自分に自信をもち、たくましく生きる力

豊かな人間性と社会性で、よりよい地域社会づくりに貢献できる人づくり

### 【共生力】

人とつながり、互いを活かす力

# 資料1-5 第2次教育ビジョン 基本理念

《基本理念:めざす「ぎふの人間像」》

高い志とグローバルな視野をもって夢に挑戦し、  
家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、  
地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」

## 【自己実現力】

◎高い志をもって、たくましく夢に挑戦する力

- 問題解決能力や創造力を発揮し、夢に向かって挑戦し続ける人づくり
- 広い視野と豊かな創造力をもって自らの能力・個性を高め、自律しながら社会に貢献できる人づくり

## 清流スピリット

## 【自立力】

◎自らの能力・個性を高め、主体的に力強く生きる力

- 幅広い知識と柔軟な思考力に基づき、主体的に課題を解決できる人づくり
- 個人や社会の多様性を尊重しつつ、幅広い視野をもって、グローバル社会で活躍できる人づくり
- 困難に直面しても、自ら考え行動し、たくましく生きていく人づくり

## 【共生力】

◎互いに支え合い、地域社会づくりに貢献する力

- 他者との共感を通して思いやりの心を育み、コミュニケーション能力を備えた人づくり
- 豊かな人間性・社会性・勤労観を持って、家庭・地域・職場で望ましい人間関係を築き、互いに助け合える人づくり
- 自らが地域社会の一員として自覚を持ち、よりよい地域社会づくりに貢献できる人づくり

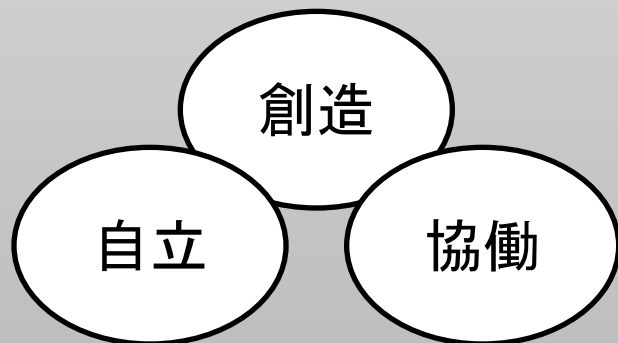
国

第2期教育振興基本計画  
策定に係る審議内容

## 国を取り巻く危機的状況

- 少子高齢化の進展  
経済規模縮小・税収減等による社会全体の活力低下
- グローバル化の進展  
人・モノ・金・情報等の流動化・新興国の台頭等による国際競争の激化・生産拠点の海外移転等による国際的な存在感の低下
- 雇用環境の変容  
終身雇用・年功序列等の変容等による失業率、非正規雇用の増加
- 地域社会、家庭の変容  
地域社会等のつながりや支え合いによるセーフティネットの低下・価値観・ライフスタイルの多様化による個々人の孤立化、規範意識の低下
- 格差の再生産・固定化  
経済格差の進行→教育格差→教育格差の再生産・固定化による一人一人の意識減退・社会の不安定化

## 3つの方向性

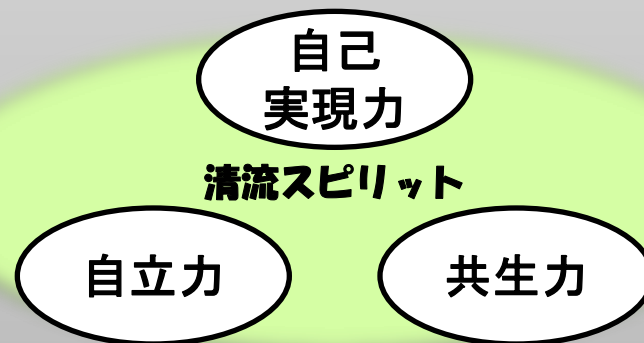


岐阜県

## 本県における現状と課題

- 人口減少・少子高齢化の進展  
労働人口の減少や単身・夫婦のみ世帯の増加等による社会の活力の低下
- 経済情勢の変化  
企業の輸出割合の増加傾向に加え、全国的な海外生産比率の増加による産業の空洞化や県内における国際人口移動の増加によるグローバル化の進行
- 雇用環境の変化  
完全失業率の高止まり傾向や若年雇用者の非正規雇用率の増加による、雇用形態の多様化
- 家庭環境の変化  
子どものいる家庭の長期にわたる平均所得の低下や低所得層の増加による教育格差の拡大傾向
- 東日本大震災の影響（全国的な傾向）  
地域との絆が弱体化した社会における相互の助け合いを求める意識の高まりとコミュニティの重要性の再認識

## 育みたい3つの力





## 資料2

# 第2回岐阜県教育ビジョン検討委員会

(H25.3.18)

# 資料2-1 第2次教育ビジョンの重点目標と主要施策について

## 【重点目標】

「基本理念」「育みたい3つの力」を実現するための「5つの重点目標」

### 【重点目標1】

確かな学力の育成と  
多様なニーズに対応した  
教育の推進

学 力

### 【重点目標5】

生涯にわたる  
学習・文化・スポーツの推進

生涯学習

### 【重点目標2】

豊かな心と健やかな体を  
はぐくむ教育の推進

心と体

### 【重点目標4】

学校・家庭・地域の協働による  
教育コミュニティづくりの推進

家庭・地域

### 【重点目標3】

信頼と安心を保障する  
教育環境づくりの推進

教育環境

# 資料2-2 第2次教育ビジョン 主要施策（29項目）

## 【重点目標1】 確かな学力の育成と多様なニーズに対応した教育の推進

- |          |                         |
|----------|-------------------------|
| 主要<br>施策 | (1) 確かな学力の育成            |
|          | (2) 特別支援教育の充実           |
|          | (3) 国際化・多文化共生に対応した教育の推進 |
|          | (4) キャリア教育の充実           |
|          | (5) 産業教育の充実             |
|          | (6) 情報教育の推進             |
|          | (7) 幼児期からの教育の充実         |

## 【重点目標2】 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進

- |          |                                |
|----------|--------------------------------|
| 主要<br>施策 | (1) 心の教育の充実と望ましい人間関係を築く力の向上    |
|          | (2) 人権教育の推進                    |
|          | (3) 豊かな体験活動の推進                 |
|          | (4) 読書活動の推進                    |
|          | (5) いじめや不登校、問題行動への対応と教育相談体制の充実 |
|          | (6) ふるさと・環境教育の推進               |
|          | (7) 健康・体力づくりの推進                |
|          | (8) 食育の推進                      |

## 【重点目標3】 信頼と安心を保障する教育環境づくりの推進

- |          |                           |
|----------|---------------------------|
| 主要<br>施策 | (1) 優秀な教職員確保と人事システムの推進    |
|          | (2) 教員の資質能力の向上            |
|          | (3) 学校マネジメントの推進           |
|          | (4) 安全・安心な学校づくりと危機管理体制の充実 |
|          | (5) 学校施設の整備の推進            |
|          | (6) 修学支援と学びの再チャレンジの推進     |
|          | (7) 校種間連携の推進              |
|          | (8) 私立学校教育の振興             |

## 【重点目標4】 学校・家庭・地域の協働による教育コミュニティづくりの推進

- |          |               |
|----------|---------------|
| 主要<br>施策 | (1) 家庭の教育力の向上 |
|          | (2) 地域の教育力の向上 |

## 【重点目標5】 生涯にわたる学習・文化・スポーツの推進

- |          |                  |
|----------|------------------|
| 主要<br>施策 | (1) 文化活動の推進      |
|          | (2) 文化財の保存・活用の推進 |
|          | (3) スポーツの推進      |
|          | (4) 生涯学習の推進      |

## 資料2-3 重点目標ごとの主要施策について【重点目標1】

### 重点目標1 「確かな学力の育成と多様なニーズに対応した教育の推進」

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 特別支援教育の充実
- (3) 国際化・多文化共生に対応した教育の推進
- (4) キャリア教育の充実
- (5) 産業教育の充実
- (6) 情報教育の推進
- (7) 幼児期からの教育の充実

#### 主な論点(例)

- 社会人として自立するために必要な力や学校教育として全ての児童生徒に育むべき学力とは何か。
- 確かな学力の育成のために、家庭との連携や地域との連携をどのように捉え、実施していくべきか。
- 社会環境が変化する中、高い志とグローバルな視野をもち、夢に挑戦する人材を育成するために、どのような教育が求められるか。
- 小中学校、高等学校、特別支援学校における障がいのある児童生徒に対する支援のために、どのような取組が必要か。

## 資料2-4 重点目標ごとの主要施策について【重点目標2】

### 重点目標2 「豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進」

- (1)心の教育の充実と望ましい人間関係を築く力の向上
- (2)人権教育の推進
- (3)豊かな体験活動の推進
- (4)読書活動の推進
- (5)いじめや不登校、問題行動への対応と教育相談体制の充実
- (6)ふるさと・環境教育の推進
- (7)健康・体力づくりの推進
- (8)食育の推進

#### 主な論点(例)

- 価値観が多様化している現代社会において、児童生徒一人一人が豊かな心を持ち、望ましい人間関係を築く力を身に付けるには、どのような取組が必要か。
- 心の教育を推進する上で、道徳教育の果たす役割について、どのように考えるとよいか。
- いじめや不登校などに対して、学校が家庭や地域と連携を図りながら、どのように児童生徒の社会性を育てていくべきか。
- 学校が家庭や地域と連携を図り、心身共に健康で活力に満ちた児童生徒を育むためには、どのような取組が必要か。